

審査の結果の要旨

氏名 松谷 美和子

本論文は、慢性疾患入院児の母親の役割ストレス、家族機能およびソーシャルサポートについて、保育園児の母親との比較および影響要因の解析を行って明らかにしたものである。はじめに、既存標準尺度のない役割ストレスと機能的ソーシャルサポートの尺度開発を行った。次いで、慢性疾患入院児の母親と母親の年齢、子ども数、子どもの年齢が釣り合う保育園児の母親との各尺度測定値の比較、および、各尺度に影響を及ぼす要因の比較を行った。その上で、慢性疾患入院児の母親の各尺度測定値への入院児関連要因を含めた影響要因の解明を行い、次の結果を得ている。

1. 尺度の開発

(1) 役割ストレス尺度の開発の結果

4つの構成概念から成る全19項目の尺度は、内的整合性および安定性ともに良好であった。構成概念のデータへの適合度は良好であった。

(2) ソーシャルサポート尺度の日本語版開発の結果

オリジナル尺度同様の構成概念が確認され、尺度の内的整合性および安定性はともに良好であった。

2. 慢性疾患入院児の母親の役割ストレス、家族機能、ソーシャルサポートについて保育園児の母親との比較

慢性疾患入院児の母親は保育園児の母親に比し、役割ストレスに差は認められなかった。しかし、役割遂行不十分感が有意に高く、家族機能への満足度が有意に低く、ソーシャルサポートの保有感が有意に低いという測定結果であった。

3. 慢性疾患入院児の母親と保育園児の母親それぞれの役割ストレス、家族機能、ソーシャルサポートに影響を与える要因の比較

慢性疾患入院児の母親の役割ストレス、家族機能およびソーシャルサポートに共通して影響を与えていた要因は家族形態であった。この他、入院児の母親の役割ストレスには母親の年齢と第一子の年齢が関与し、家族機能への満足度とソーシャルサポートには職業が影響を与えていた。保育園児の母親では、3つ

の尺度に共通する影響要因は認められず、役割ストレスには母親の年齢、家族機能には職業が関与し、ソーシャルサポートには家族形態、末子の年齢および子ども数が関与していた。

4. 慢性疾患入院児の母親の役割ストレス、家族機能およびソーシャルサポートに影響を与える要因

影響要因に入院児関連の要因を加えた解析を行った結果、役割ストレスは母親の年齢、第一子の年齢、家族形態のほかに1日24時間の付添い、および付添いの交替の有無が影響要因として認められた。家族機能への満足度には職業、母親の年齢、退院の見通しの有無、1日24時間の付添い、入院回数が影響を与えていた。ソーシャルサポートの保有感には第一子の年齢が影響を与えていた。

以上、本論文では、いまだ明確にされることのなかった慢性疾患入院児の母親の役割ストレスに着目した点に独創性が認められる。さらに、慢性疾患児の入院とその家族に焦点を合わせ、親の役割ストレス、家族機能およびソーシャルサポートについて明確で新しい知見を得ている。また、影響要因の分析によって、入院児の家族に配慮した小児医療のあり方や入院環境整備に関する重要な示唆を得ている。よって、本論文は、将来における慢性疾患入院児の医療および福祉の分野において重要な貢献をなすと考えられる点で、学位の授与に値するものと認められる。